

令和5年度 林野庁委託事業

新技術を活かした森林作業システム高度技能者育成研修のうち

育成研修（新技術高度技能者育成研修）のご案内

1. 研修の目的

生産性や安全性の向上には、新技術を活用した「林業イノベーション」を推進し、林業現場へ導入するための基礎となる知識が必要です。

本研修では、**新技術を活用した森林作業システムを実践できる現場技能者（新技術高度技能者）**の育成を図ります。

新技術高度技能者の役割は、以下のとおりです。

- ✓ 木材生産現場での新技術の導入を担い、経営側との連携の促進を図る。
- ✓ 現場の状況を把握して、新技術により施業の高度化を図る。

2. 研修の内容

- ◆ 新技術を活かした森林作業システムを実践するための基本的な考え方を学ぶ講義
- ◆ オープンソースのGISや作業日報等を活用した、これから始められる木材生産現場のデジタル化の事例紹介
- ◆ 課題解決に向けた新技術の活用に関する知識の習得等

受講料は無料、研修教材（右図教材）を**無料で配布**



お問い合わせはこちら

一般社団法人フォレスト・サーベイ

〒102-0085
東京都千代田区六番町7 日林協会館2F

電話：03-6737-1297

e-mail：romou@f-survey.jp

FAX：03-6737-1298

H P：http://www.f-survey.jp/

研修の実施・受講等の手続き・案内については、ホームページをご覧ください

3. 受講生の参加資格

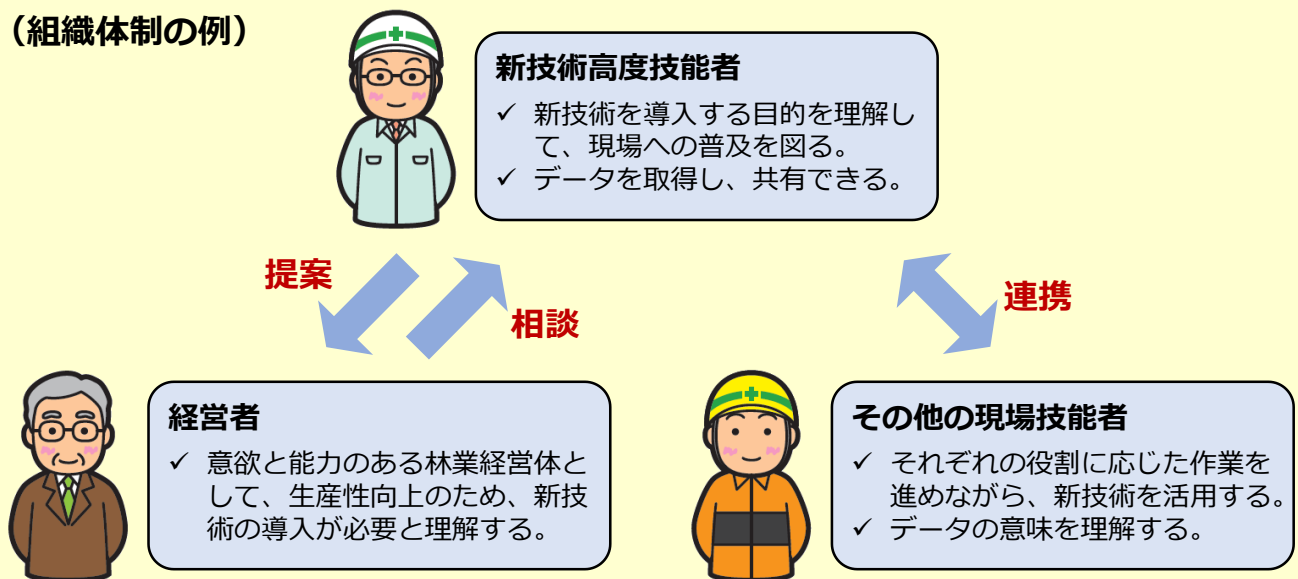
- **今後、事業体等において新技術導入の中心となる者**
- 所属する事業体における現状の森林作業システムを把握している者
- 実際の現場における森林施業の経験を有する者（概ね4年以上※）
- 労働災害補償保険の適用を受けている者（個人事業主は問わない）

※受講対象者は、今後、森林施業の高度化を担うこととなるため、現場における森林施業に関する知識や技術を有する必要があることから、概ね4年以上の森林施業の経験を有する者とする。

◎ この研修は、次のような人に向いています

- ◆ オープンソースのGIS等を活用した、実践的な計画作成の考え方を習得したい者
- ◆ 作業日報等を活用した、進捗状況や出材情報の効率的な管理方法を習得したい者
- ◆ 新技術を導入した取組み事例を知りたい者 等

（組織体制の例）



※ 各林業事業体により、様々な組織体制（経営者が新技術高度技能者の役割を担う等）があります。

4. 研修のカリキュラム

時間	内容
9:00~9:15	開講式、オリエンテーション、自己紹介
9:15~12:00	【講義】：研修教材「新技術を活かした森林作業システム」
13:00~15:00	【事例紹介】：「これから始める木材生産現場のデジタル化」の紹介 ① オープンソースを活用した木材生産の計画 ② 作業日報を活用した木材生産の管理
15:00~16:45	【グループワーク】：新技術を活用した解決方法の検討
16:45~17:00	アンケート記入、閉講式